

正月遊び

園庭では「正月遊びコーナー」を設け、主に朝の好きな遊びの時間帯に楽しんでいます。凧揚げ、こままわし、羽根つき、けん玉、竹とんぼ、だるま落とし福笑い、、、日本の昔遊びは単純ですが奥深いですね。色々な正月遊びを手にして一通り遊び、その中から気に入った遊びに夢中になります。初めはうまくできなくても年長のお兄さんお姉さんを真似したり、教えてもらったり、失敗を繰り返しながらも先生から励まされ、何度も挑戦し、少しずつですが、着実に上達していく様子が見られます。

※昨年もこの話題に触れましたが、皆様にご理解頂きたい内容なので、以下に再掲させていただきます。

この「難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組もう」としたり、友だちと協力してやり遂げようとする力」の事を「**社会情動的スキル**」や「**非認知能力**」と呼びます。知的能力とは違いますが、むしろその基礎となるととても大事な力で、幼児期に最も身につく、大人になってからでは身につくのが難しい「**脳の働き**」です。この力が幼児期に身につけているかどうかで、将来に大きな差を生むと言われていています。この力を育てるためには次の2つのことが大切と言われていています。

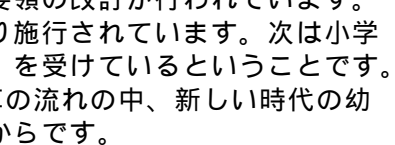
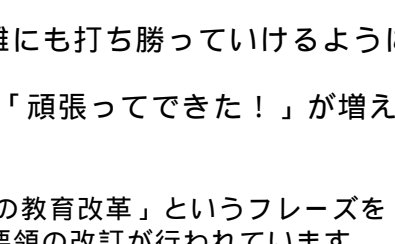
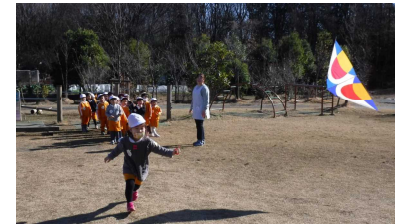
「**それがやりたいこと**」であること・・・子どもはやりたいと思うことには粘り強く、また継続的に取り組む学びの効果も高いと言われていています。(内発的動機づけ)

「**頑張ってきた**」を積み重ねていくこと・・・飽きたり、嫌になったり、疲れたりしたときに「あとちょっと頑張ろう」と自分を奮い立たせる力は幼児期から働いています。この気持ちを支えるのは、友だちの応援や、保育者、親の見守りです。この応援や見守りの中、「**頑張ってきた!**」という「**小さな成功体験**」の積み重ねが子どもの記憶に残り、自信となり、生涯出会う未知の出来事にも勇気を持って立ち向かい、**困難にも打ち勝っていけるようになっていきます。**

幼稚園では、1人1人が「やりたいこと」を見つけ「**頑張ってきた!**」が増えていけるよう、見守っていききたいと思います。

今、マスコミでも「日本の教育が変わる」とか「2020年の教育改革」というフレーズを耳にします。現在、幼稚園から大学入試に至るまでの指導要領の改訂が行われています。

そして、この改訂のスタートは幼稚園で、既に昨年度より施行されています。次は小学校です。つまり、子ども達は今まさに「**新しい時代の教育**」を受けているということです。Yurikagoが現在の環境に移転したのも、この大きな教育改革の流れの中、新しい時代の幼児教育に必要な要素が、この環境には十分にあると感じたからです。



もちつき会

日本の伝統行事でもある「もちつき」。今年も幼稚園では昔から伝わる方法で、もちつきを行いました。お正月にお餅を食べることは普段食べないものを食べることで、気持ちを切り替えるという意味があるそうです。また神様にお供えした野菜や餅をお雑煮にしてたべることで、「神様からパワーをいただく」という意味もあるそうです。幼稚園では無事に年を越せたことに感謝し、また素敵な1年になることを祈念してお餅つきを行いました。



大豆を石臼で挽いてきな粉に。(辛味餅用の大根も園で収穫) ホール前に全員集合!



男の先生、担任の先生、子ども達、、、みんなでつきました! 美味しかったね!

年長 どんど焼き〜自由保育参観

年長さんの書き初めやご家庭のお正月飾り、幼稚園の門松などをどんど焼きで燃やしました。森の広場のファイヤースペースにお炊き上げ用に組み、年長のお当番さんがマッチで点火! 火が高く上がった後は弱まるのを待ち、お餅を篠竹に刺して火に炙って頂きました。参観でお越し頂いた保護者の方にも召し上がっていただきました! また園で漬けた「たくあん」、お花クラブさんと栽培・収穫した「カワラケツメイ茶」も、みんなでいただきました!

どんど焼きには様々な意味があると言われていています。歳神様が煙に乗って天に帰れますように、字をうまく書けますように、そして何よりも健康に暮らせますように。ご参観頂いた保護者の皆さま、有り難うございました。



「あつい!」と言いながらも、篠竹につけた餅を火に近づけ、ゆっくり回しながらまんべんなく熱が通るよう焼き上げていきました。保護者の皆さまにも地域の伝統文化を体感して頂きました!!

年長 ドッジボール大会～自由保育参観

参観では、どんど焼きに続きドッジボール大会が行われ、園児の試合と、お母さま方の迫力あるドッジボールの試合も行われました。2月に予定されているみなみ野君田小学校での「みなみ野地域ドッジボール大会」に向けても、とても良い機会となりました。



年長 ハーブ王子と、、「七草探し&七草粥」

昨年に引き続き、野草研究家の「ハーブ王子」(山下智道さん)にお越し頂き、年長さんと園内を歩き、春の七草をはじめ沢山の野草を採って七草粥をいただきました！子ども達は目を輝かせ、ハーブ王子に、「これ何？ 食べられる？」と次々に質問し、野草摘みを楽しみました！日頃何気なく通り過ぎていた道端の小さな野草(雑草)にも、それぞれに名前があり、厳しい寒さの中でも一生懸命生きているのだということを感じさせます。因みに、クラスの前のガーデン(畑)では、多いクラスで20種類以上の野草が育っていることを知りました。時々森の広場の土を堆肥として混ぜ込むため、土に眠っていた種が発芽するようです。このように、たくさんの山野草が身近にあるって素敵ですね！さて、採った野草は七草のわらべ唄「七草なずな」をみんなで歌いながら、お当番さんがリズムに合わせ、包丁で刻みました。そしてご飯と一緒に釜戸で炊き、春の香りがいっぱいの「七草粥」を、ハーブ王子と一緒にいただきました！

※11月にもお母様向けの「野草ハンドクリーム作り」でお越し頂きましたが、これからも季節に応じ様々な山野草関連のワークショップを行って行く予定です。



生活発表会への取り組み

生活発表会に向けて、日常の劇遊びを楽しみながら、必要な背景画や装飾を子ども達と作っています。絵本や物語の世界に入り、想像しながら、お友達や先生と相談しながら作っています。また、劇遊びから、徐々に発表を意識して取り組んでまいります。



年少 麦踏み 年少さんが棚田の上の畑に蒔いた麦の芽がぐんぐん育っています。そこで、より強く育っていくよう1回目の「麦踏み」をしました。はじめは「本当に踏みじゃっていいの？」と言って優しく踏む子が多かったのですが、「踏まれてもまた起き上がるように強く育つんだよ！」と言うと安心したようで、しっかり踏み様子が見られました。子ども達にも、麦のようにたくましく育って欲しいですね。収穫は年中になってから、6月の予定です。今年、うどん？すいとん？ピザ？パン？ 何を作るのでしょうか…。



年中 クッキング 「野菜たっぷりすいとん汁」 年中さんは麦をこねて、すいとんを作りました。園の畑で白菜、にんじん、水菜、大根を収穫し、たくさんの野菜を入れて釜戸で完成！体も心も温まるすいとん…美味しく頂きました！



年長 焚き火体験 1人ずつマッチを擦り火をつけ、焚き火にしていく体験をしました。小さな火を育て、徐々に大きくしていく方法も知り、火は便利だけど、間違った使い方は火傷をしたり火事につながるなど、体験を通して学びました。

